

◇は評価方法

月	学習内容	指導目標	主な学習活動	教師の支援・方法	評価の観点
4	は種	◎アレンジに使用することを考えさせ、適切な草花を選ぶことができるようにさせる。 ◎は種に関する知識と技術を身に付けさせる。	○アレンジに使用することを考え、草花を選ぶ。 ○は種を行う。	◎活動に対する生徒への意識付けを行い、意欲を持たせるよう配慮する。 ◎は種の方法を実際にやって見せ理解させる。	○アレンジに使用できるたねを選び、適切な方法では種ができる。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ◇作品法・ワークシート
	調べ学習	◎自分の育てる草花の栽培管理、特性等を調べ、今後の栽培方法についてまとめさせる。	○自分の育てる草花の栽培管理、特性等をインターネットを活用し、今後の栽培方法について調べる。	◎ワークシートを用意し、どのようなことについて調べるのかを明確にする。	○育てていく上で必要な情報を集めることができ、栽培管理の方法を理解できる。 (関心・意欲・態度) (思考・判断) ◇ワークシート
5	観察①	◎発芽の観察、生育調査を正確に行わせ、今後どのような管理が必要になるかを考えさせる。	○発芽率を調べ、生育調査の目的と方法を学習し、実際に測定・記録を行う。 ○今後必要となる栽培管理を考える。	◎発芽率のだしかたを説明する。また、どのような形態でどのような様子か、他の草花の発芽の様子との違いを確認させる。	○観察により、発芽率、生育の様子や形態の特徴について適切に表現することができるとともに、今後の栽培管理を考えられる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇ワークシート
	鉢上げ	◎鉢上げの意義を理解させ、鉢上げに関する知識と技術を身に付けさせる。	○鉢上げの目的と方法を学習し、実際に鉢上げを行う。	◎個々に回り、根を傷めず、スムーズに鉢上げができるよう支援する。	○適切な方法で鉢上げができ、鉢上げの方法、鉢上げを行う理由を説明できる。 (技能・表現)(知識・理解) ◇作品法・ワークシート
6	追肥・拵座	◎追肥の意義について理解させ、追肥についての知識や技術を身に付けさせる。	○追肥・拵座の目的と方法を学習し、実際に行う。	◎肥料の置き方、作業内容を確認し、追肥・拵座の方法について理解させる。	○追肥の役割について理解し、適切な方法で追肥を行うことができる。 また、概要を説明することができる。 (技能・表現)(知識・理解) ◇作品法・ワークシート
	観察② 観察③ 観察④	◎各栄養器官・生殖器官の観察をさせ、観察をもとに生育の様子を理解させ、今後の成長と管理作業を考えさせる。	○成長の様子、葉の付きかた等を観察し、生育調査・スケッチする。 ○今後の生育や栽培管理を考える。	◎ただスケッチするだけでなく、葉の付き方、形等草花の特徴を理解するよう助言する。 ◎花芽が出てきているか、どの程度成長したかを確認させ、どのくらいで収穫になるか見通しを立たせる。 ◎花の様子、色、形、つきかたを確認し、アレンジにどのように使用するか等考えさせながら観察させる。	○草花の成長の様子、形態の特徴を観察し、ワークシートに適切に表現することができるとともに、今後の成長や必要となる栽培管理を考えられる。 (技能・表現)(思考・判断) ◇ワークシート

	振り返り学習①	◎今までの栽培体験をもとに栽培に必要な知識や技術を振り返り、再構築させる。	○草花の栽培を種まきから振り返り、ワークシートにまとめる。	◎草花に必要な栽培管理、成長の様子等一連の流れを再確認できるようワークシートを利用する。 ◎今後、教える立場に立ったときの資料となることを理解させ取り組ませる。	○一連の流れをワークシートに分かりやすくまとめることができ、栽培管理や技術について身に付いたことを説明することができる。 (知識・理解)(技能・表現) ◇観察法・ワークシート
7	収穫・ドライ	◎草花生育の様子を考察し、適切な収穫時期を理解させる。 ◎ドライフラワーの使い方について理解させ、処理方法に関する知識や技術を身に付けさせる。	○生育の様子から収穫適期を理解する。	◎アレンジに使用しやすいような収穫の仕方を理解させる。 ◎乾燥機を使用する方法と自然乾燥によるドライフラワーの作り方を理解させる。	○草花の形態を観察し、アレンジにあった収穫をすることができる。 ○ドライフラワーの作り方を理解し適切な処理を行うことができる。 (技能・表現)(知識・理解) ◇作品法・ワークシート
	作品① タペストリー	◎ドライフラワーの扱い方を理解させ、ドライフラワーアレンジについての知識と技術を深める。	○栽培収穫した花を作品に利用し、作品を作る。	◎どのようにアレンジに利用するかを理解させる。また、作品を作ることだけでなく、花の形態、色をよく見て利用できるよう支援する。	○ドライフラワーアレンジについて理解し、栽培した草花を作品に利用することができる。 (知識・理解)(技能・表現) ◇観察法・ワークシート
8	一日体験学習	◎栽培した草花とタペストリーについての知識や技術を振り返らせ、それらを説明することのできる実践的な態度を身に付けさせる。	○今までの学習を生かして、タペストリーの説明を中学生などに行う。	◎自信を持って発表できるよう事前学習をしっかりさせ、発表の環境を整える。	○作品についてわかりやすく、意欲的に説明することができる。 (関心・意欲・態度) ◇観察法
	ドライフラワー	◎ドライフラワーの扱い方、処理方法についての知識を身に付けさせる。	○ドライフラワーの作り方、扱い方、利用方法、飾る場所等について学習する。	◎アレンジにどのように利用するのか、どのような場所に飾るのか等ただアレンジに利用することのないよう助言する。	○ドライフラワーの作り方、処理方法、扱い方を理解し、説明することができる。 (知識・理解) ◇観察法
9	栽培草花発表会	◎栽培した草花についての観察内容、栽培方法をまとめさせ、その内容を発表することのできる態度を身に付けさせる。	○栽培した草花についての発表会を行い、情報を共有する。	◎どの生徒も理解できるよう写真、ワークシートを用意するよう支援する。また、発表の仕方についても指導する。	○意欲的な態度で発表に取り組み、分かりやすく草花についての情報を伝えることができる。 (関心・意欲・態度)(技能・表現) ◇観察法・ワークシート
	デザイン画を考える	◎栽培した草花を生かしたデザイン画を考えさせ、適切に表現できる技術を身に付けさせる。	○ドライフラワーにした草花をどのように作品に活かしていくかを考え、デザイン画を書く。	◎花の形態、色を生かしたデザインになるよう助言を行う。	○草花の特徴を捉えたデザインを考え適切に表現することができる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇作品法
	作品② 時計	◎デザイン画をもとに、草花の特徴を生かしたアレンジメントができる技術を身に付けさせる。	○デザイン画に基づき、栽培収穫した花の色、形を活かした作品作りを行う。	◎デザインした作品にできあがるよう支援する。	○デザイン画に基づき、草花の特徴を生かした作品の作製することができる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇観察法・作品法・ワークシート

10	発表会	<p>◎作品の花の使い方、色使い等について理解を深めさせる。</p> <p>◎作品について考察させ、正確に作品の特徴を表現できる態度を身に付けさせる。</p>	<p>○完成した作品について発表し、他の生徒と自分の作品を比較しながら、他の生徒の色使い、花の使用方法について知る。</p>	<p>◎自分と他者の花の扱い方、色使い等の違いについて確認できるよう発表する場の環境を整える。</p>	<p>○自分の作品に対する考え、草花をどのように活用したかについて分かりやすく発表することができる。 (関心・意欲・態度) (技能・表現) ◇観察法・自己・他者評価</p>
	デザイン画を考える	<p>◎前回の作品の反省を活かしたデザインを考えさせ表現することのできる技術を身に付けさせる。</p>	<p>○ドライフラワーにした草花をどのように作品に活かしていくかを考え、デザイン画を描く。</p>	<p>◎花の形態、色を活かしたデザインになるよう助言を行う。</p> <p>◎小物やラッピング用紙にも配慮するようラッピング用紙やリボン等実物を見せ、助言を行う。</p>	<p>○前回より草花の特性を生かしたデザインを考えることができる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇作品法・ワークシート</p>
11	作品③クリスマス	<p>◎前回の作品の反省を活かしたアレンジを行わせる。</p>	<p>○デザイン画に基づき、栽培収穫した花の色、形を活かした作品作りを行う。</p>	<p>◎クリスマスをイメージさせながら、小物の使い方等助言を行い、デザインした作品にできあがるよう支援する。</p>	<p>○デザイン画に基づき、前回よりも草花の特徴を生かした作品を作製できる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇作品法・ワークシート</p>
	発表会	<p>◎前回の作品と比べさせ、反省点をどのようにアレンジに活かしたかを考えさせ、発表することのできる態度を身に付けさせる。</p>	<p>○完成した作品について発表し、他の生徒と自分の作品を比較しながら、他の生徒の色使い、花の使用方法について知る。</p>	<p>◎自分と他者の花の扱い方、色使い等の違いについて確認できるよう発表する場の環境を整える。</p>	<p>○前回の作品との比較を交えながら、作品についての工夫した点、草花を活用した点について自分なりに考えて発表することができる。 (思考・判断)(技能・表現) ◇観察法・自己・他者評価</p>
	振り返り学習②	<p>◎は種から作品作りまでの流れを体系的に理解させ学習した知識・技術を再構築させる。</p> <p>◎栽培したものをアレンジに活用する意義について考えさせる。</p>	<p>○栽培から作品作りまでの流れをワークシートに沿って振り返り、自分で栽培した花材を活用する意義について考える。</p>	<p>◎振り返り学習を行うことにより一連の流れを再構築させ、発展的な取り組みである地域との交流に向けての意識を高める。</p>	<p>○自分で栽培した草花を活用することの意義を考察することができる。 (思考・判断) ○栽培から活用までを体系的にワークシートにまとめ、栽培管理や作品作りを通して身に付いた知識や技術の説明をすることができる。 (知識・理解) ◇ワークシート</p>
地域との交流	<p>◎活動内容を考察させ、分かりやすく説明することのできる能力を身に付けさせる。</p> <p>◎ドライフラワーのアレンジの教えることのできる実践的な態度を身に付けさせる。</p>	<p>○地域の人たちに自分たちの作品を見ていただき、生徒が先生役になり、草花の栽培方法からドライ、作品作りまでの流れを説明する。</p>	<p>◎自信を持って指導できるようワークシートをうまく活用させる。</p>	<p>○意欲的な態度でドライフラワーの作り方を地域の方々に説明し、アレンジの方法を工夫しながら分かりやすく教えている。 (思考・判断) (関心・意欲・態度) ◇観察法・ワークシート</p>	

12	まとめ	◎栽培から活用までの学習を振り返らせ、新しい課題について考えさせる。		◎振り返りシートを活用させ、栽培から活用までの流れを把握できるよう助言を行う。 また、達成感、成就感を味わえるよう、作品や地域の人たちとの交流を思い出させ、ワークシートに記入させる。	○草花栽培と草花の活用のかかわりに関する課題を自分なりに考えることができる。 (思考・判断) ◇ワークシート
----	-----	------------------------------------	--	--	--